



Massのマーカーリストをダウンロードしてシーケンスヘインポートする方法【EDIUS編】

Mass
on the cloud platform

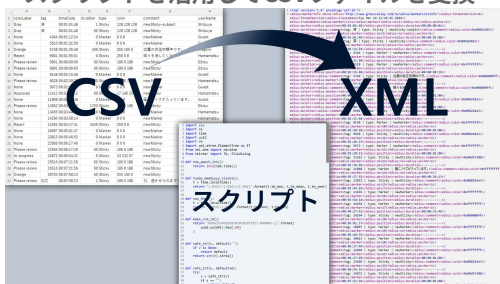
「Mass」で登録したマーカーリストは、EDIUSで読み込み可能なXML形式に変換することで、タイムライン一括インポートできます。
今回は、こちらのフローのご紹介となります。編集ワークフローの効率化にぜひご活用ください。

マーカーリストをCSV形式でダウンロード



©copyright 2008, Blender Foundation / www.bigbuckbunny.org

スクリプトを活用してCSVファイルを変換



インポートされたシーケンスマーカー



©copyright 2008, Blender Foundation / www.bigbuckbunny.org

【STEP1】 マーカリストのダウンロード

マーカーや付箋マーカーを登録したアセットのマーカーリストから、「CSV形式でダウンロード」を実行し、CSVファイルをダウンロードします。

【STEP2】 エクスポートしたマーカーリストの変換

Massから出力したCSVを、EDIUSで読み込み可能なXMLフォーマットへと変換します。



Tips: この変換作業はPythonなどのスクリプトで自動化が可能です。生成AIに「CSVをEDIUS用XMLに変換するPythonコード」を作成してもらうと簡単に仕組み化できます。

【STEP3】 XMLファイルのインポート

1. EDIUSで対象のシーケンスを選択します。
2. ツールバーより「マーカー」>「マーカーリストのインポート」を選択します。
3. ファイルの種類で「.xml」を指定して、変換したxmlを開きます。これでシーケンス上にマーカーが一括で読み込まれます。

まとめ

Mass上でクライアントが残した修正指示を、そのままEDIUSのシーケンス上に再現できます。

「どこを修正すべきか」がシーケンス上で一目瞭然になるため、手入力による転記ミスや確認の漏れを大幅に削減可能です。日々のカット編集・修正フローの標準化にぜひご活用ください。



©copyright 2008, Blender Foundation / www.bigbuckbunny.org

Copyright © 2022-2026 Visual Graphics, Inc.

Best Solution with Technology

Mass® is a registered trademark of Visual Graphics, Inc. All rights reserved.